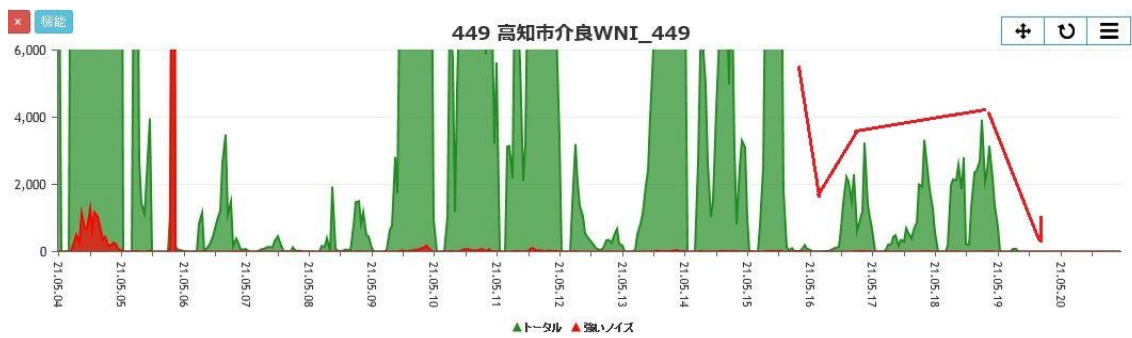


210519 高知市介良、伊勢などの収束状況 <発震の直前のデータの可能性>

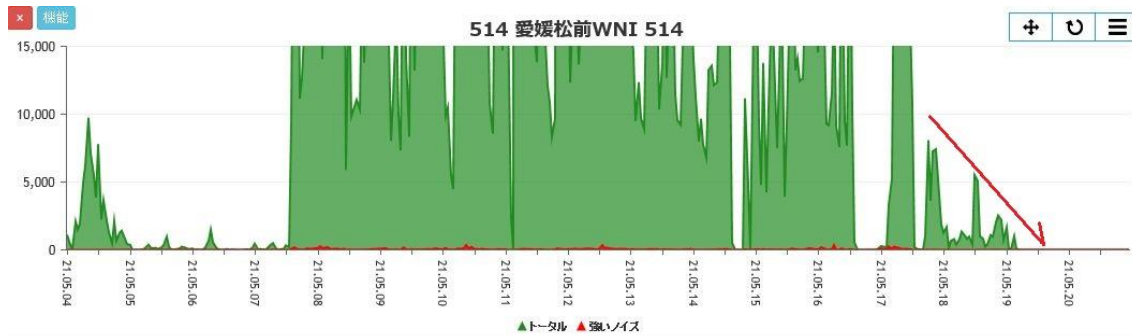


一昨日 5月17日に<関西に大地震の可能性>ということで 臨時メールを配信し、詳細をお知らせにも載せています。その後2日経過しましたが本日5月19日の段階では、高知市介良、愛媛松前、神戸市灘区、伊勢E481、伊勢D484の主要な大型データは、リバウンドせず、さらに減衰—収束が進んでいて発震の直前データに見えます。また周囲では山口から関西、愛知、静岡、長野までの非常な広範囲のデータに収束傾向が見られます。それぞれのデータを見ると、いずれもほぼ収束してきており、いよいよ発震が近いと思われますので、ここ数日は十分な注意が必要です。

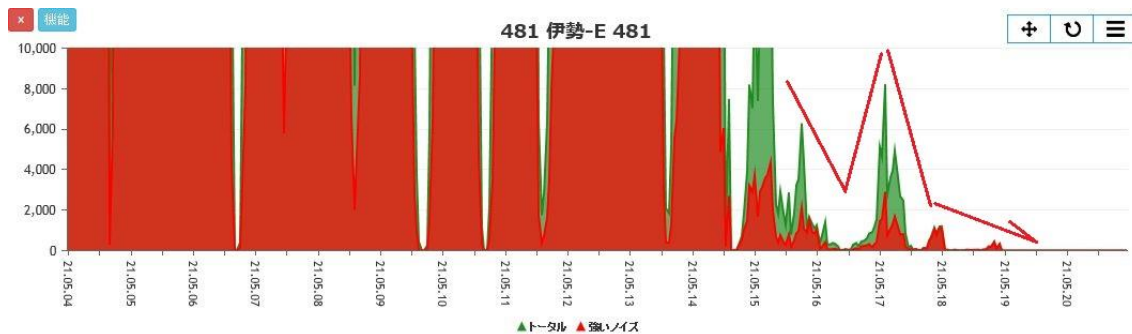
高知市介良 15日間データ



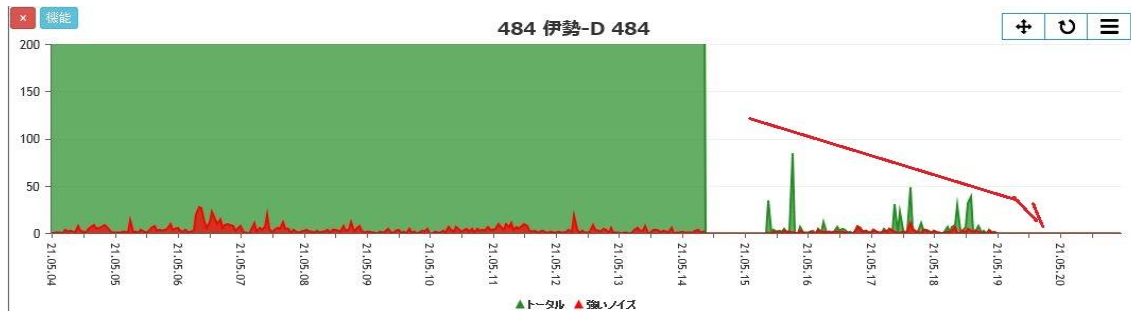
愛媛県松前



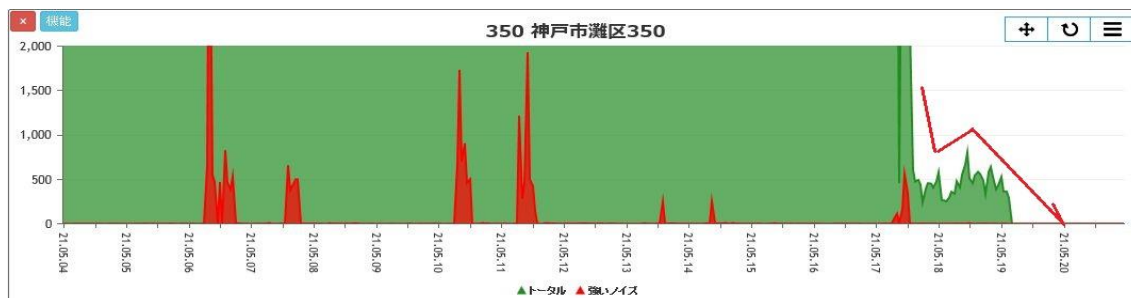
伊勢E481



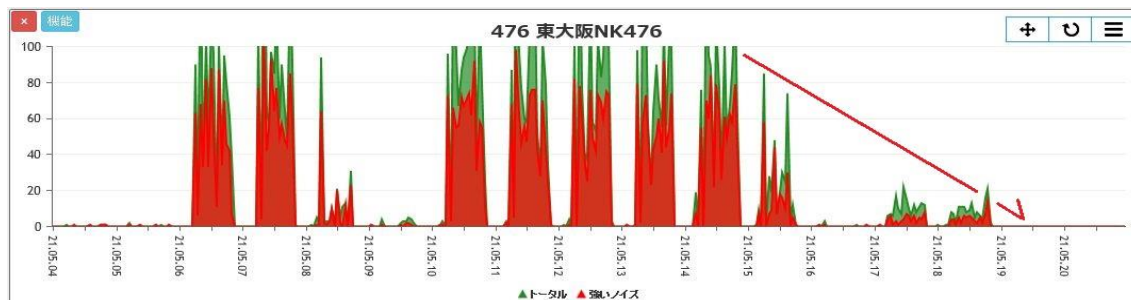
伊勢D484



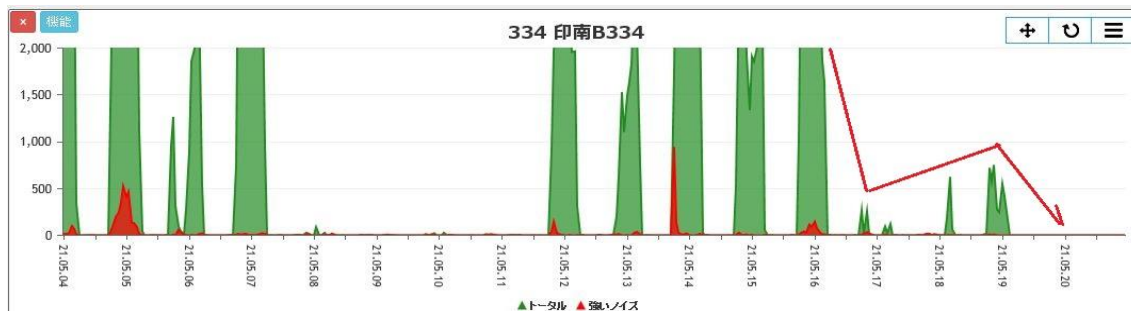
神戸市灘区



東大阪



和歌山県印南



山口県周南



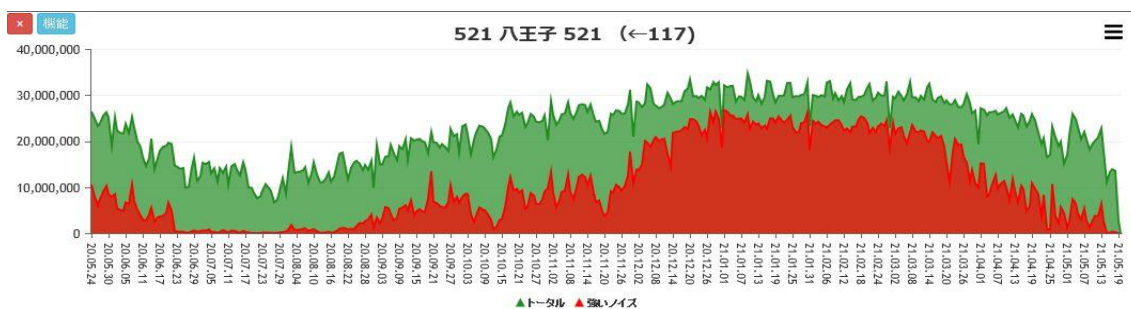
<南海トラフの地震との関連について>

今回、広範囲の大型データが一斉に同期して減衰→収束してきていて、いずれも大きい長期のデータであって、データの収束時には大地震が発生する可能性が高いです。また観測点の位置関係を図に載せてみると主に太平洋側に並んでいます。

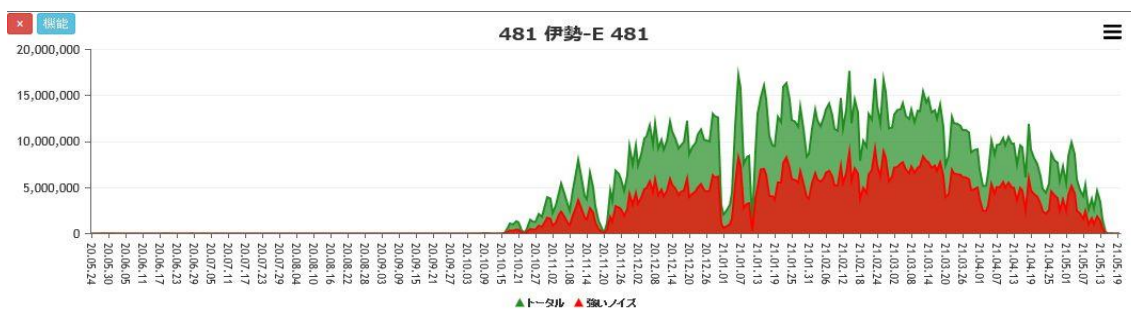
これら主な異常データのうち、高知市介良の長期データは前回 2016 年 4 月の収束時に M7.0 と M6.3 の熊本地震が発生していますが このときのデータは 2014 年 12 月から約 1 年半続いたものでした。しかし今回はその直後の 2016 年 4 月から 2021 年 5 月までの約 5 年続いたデータであり仮にこの期間の全体でエネルギーを蓄えていたと仮定すると次に来る地震は熊本地震の M7 を大きく超える可能性があります。さらに伊勢 E 481 や鹿児島県種子島の西之表のデータなどはちょうど想定される南海トラフ地震の震源域に重なっています。

以上のことから今回の異常データが南海トラフの地震、とくに東南海地震の前兆であるという可能性もかんがえられます。南海トラフの地震の前兆現象は誰もが未経験なので注意をしておく必要はあると考えます。

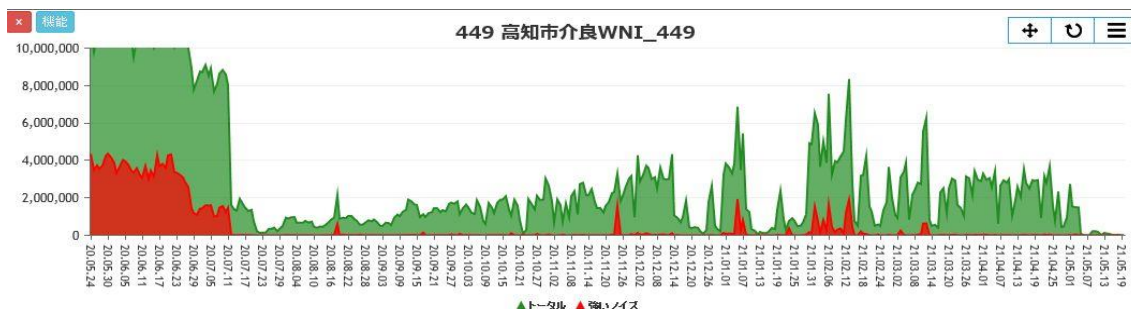
八王子 360 日日毎データ



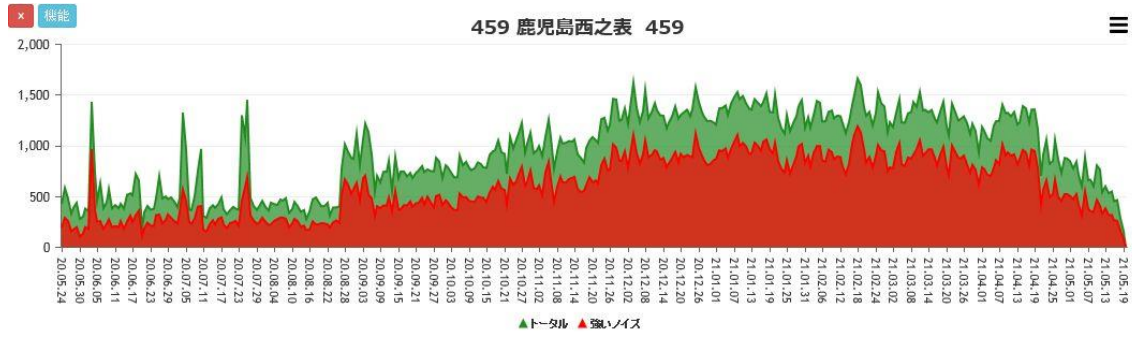
伊勢 E 481 360 日日毎データ



高知市介良 360 日日毎データ

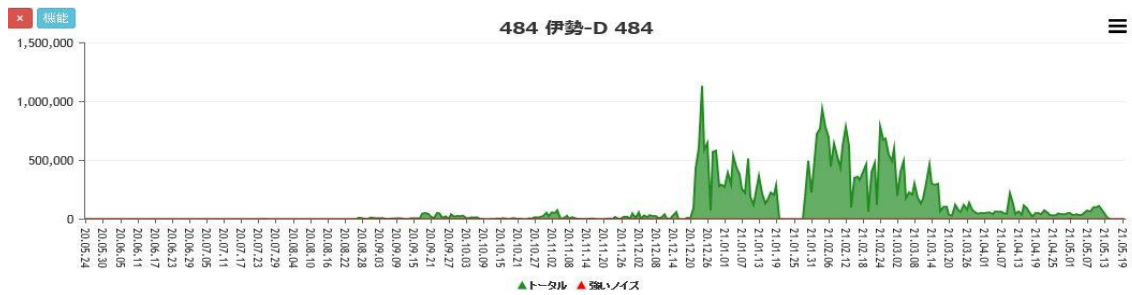


鹿児島県西の表（種子島） 360 日日毎データ



その他 360 日間日毎データ

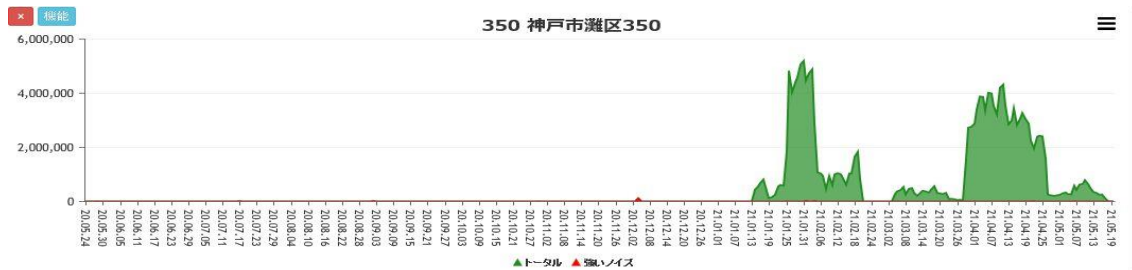
伊勢D484



愛媛松前



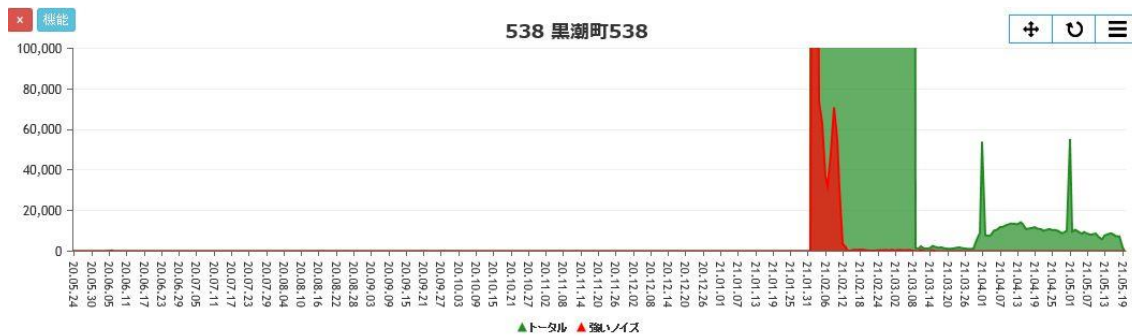
神戸市灘区



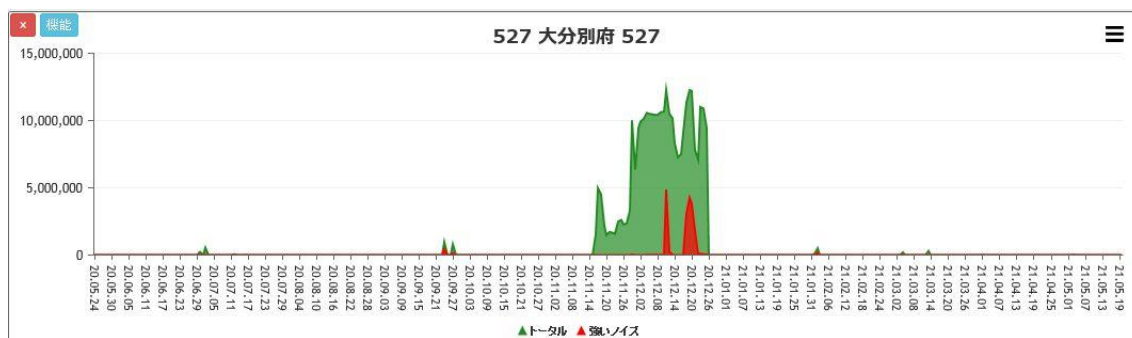
高知県黒潮町



高知県黒潮町（その2）



大分県別府



<位置関係>

